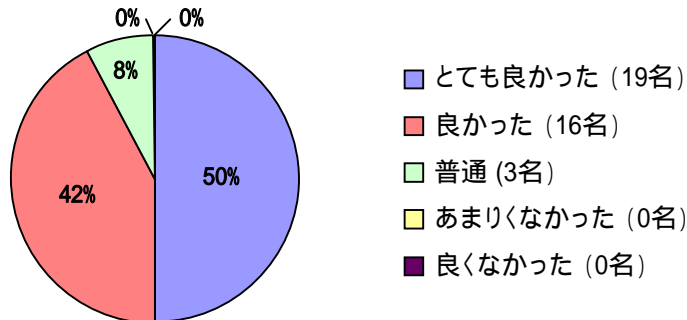


第2回 RecNet Fukuoka 講習会（入門講習会）

アンケート集計結果（参加者50名、アンケート回収38名 <回収率 76%>）

Q1. 講習会に参加して、よかったですか？



Q2. 今後、改善した方が良くと思われる項目と改善法があれば提案して下さい。

日程・時間帯

- 土曜日の午後
- 連休時はさけてほしい。
- 2時スタート
- 土曜も業務がありますので13時半か14時からの開始だと参加しやすいです。

開催場所

- 場所が分かりにくかった。毎回同じ場所が良い。
- 開催場所がもっと分かりやすいようにしてほしい。大学に入ってすぐに道案内を置く等。

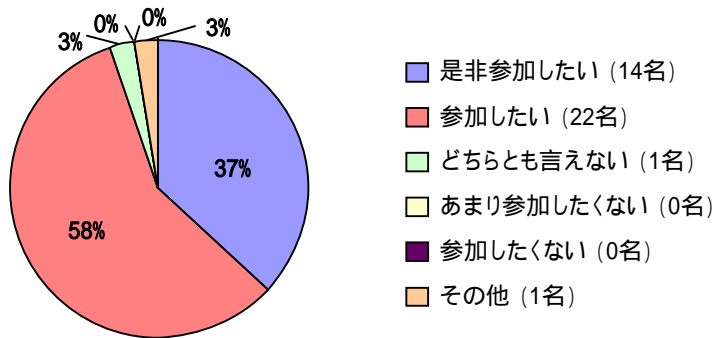
その他

- 具体的事例、あるいはサンプルを中心としての解説がよい。稲野先生の解説はこれに則しておりよかった。
- 温度設定が低く咳をしている人が多かった(数人)
- 13時～17時は長すぎる。3時間内くらいに願いたい。
- メール登録での認可報告があれば良い。
- 内容が3つとも濃かったなので、1日1つのテーマでも十分勉強できたのではと考えます。

Q3. 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書き下さい。

- 弱者(生活保護の方の参加など)の考え方。大学HPの治験の時にその学生の参加など
- 治験審査委員会での具体的事例
- 適応外使用に関する調査(高度医療評価の対象とならないもの)
- 医療技術
- ブリッジング
- 模擬IRB
- 模擬審査ワークショップ IRB毎での意見交換など

Q4 今後の講習会にも参加したいと思いますか？



Q5 ご意見・ご感想・ご質問等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

- IRB事務局の仕事に従事することになった初心者ですが、とても勉強になりました。ありがとうございます。
- IRBに関しての研修が少ない中、本当に感謝しています。ありがとうございます。
- 大変ためになりました。ありがとうございます。
- 大変勉強になり、参考になりました。
- 日頃あまり詳しく聴くことのできない講義内容を聴けて大変参考になりました。ありがとうございました。
- 非常に参考になりました
- 倫理審査の方法について大変分かりやすく説明して頂き助かりました。ありがとうございました。
- 統計に関する教育は医学部でも薬学部でもほとんどありません。20分で統計の話をして頂いたのですが、かなり内容としては難しかったと思います。できれば講習会で統計に関し、基礎から話をして頂けると助かります。
- 「科学性をどう判断するか」の統計の話がよく分からなかった
- 単純化した形式で研究計画書を具体的に示して頂き、審査のポイント: 倫理性に関する所、科学性に関する所が教示されると理解がし易いのではないかと思います。
- 学者の集会ではないので、本講習会での「科学性をどう判断するか」のような講演は必要性がないように思われる。
- 稲野先生「倫理審査の方法」大変分かり易かった
- 歴史・時代背景を学び、GCPについて理解度が高まった(気がする)。
- 私の場合、非専門部門の治験審査ですので笹栗先生の治験委員会の歴史的背景のお話を大変興味深くお聞きしました。
- 実践編に参加したい
- 実務において参考になりました。
- 断片的な事が多い研究が多い中、具体的な面をゆっくりと理解できました。
- 病院機能評価機構の提案する委員会との整合性について。
- 治験審査委員会のレベル向上のために、何かできないかと悩んでいます。今日の講習会の資料を基に、委員と相談してみようと思います。ありがとうございました。
- 病院の規程で治験を実施しており、IRBにおいても、病院の指示で委員になっているような状況であり、倫理審査をできる状況にあるのかということを変えて考えなければならぬと感じました。ただやらされているIRBでなく、盛り上がるIRB? にできるようサポートしたいと思いました。
- 会場の大きさ等は前回に比べ小さかったが、これくらいの広さでの開催の方が講義内容に集中できよかった。
- ホームページは参考になります。ますますの充実をお願いします。
- 今後の開催についての情報はHPにしかありませんか？メール等でお知らせ頂けると助かります。貴重なお話を伺える機会を多く持ちたいと思います。